

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	八尾市水道庁舎	階数	地上4F
建設地	八尾市光南町1丁目37.39-1.50	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	150 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年1月 予定	評価の実施日	2014年4月15日
敷地面積	4,207 m ²	作成者	都市環境設計 後藤
建築面積	1,758 m ²	確認日	2014年4月30日
延床面積	5,387 m ²	確認者	都市環境設計 木村



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 96%

③上記+②以外の 96%

④上記+ 96%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	人と環境にやさしい防災拠点としての庁舎	
その他	特に無し	
Q1 室内環境	断熱性、遮音性、吸音性はそれぞれの性能を持った材料を採用している。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	窓口関連部門を集約し利便性を高め、玄関廻りには広々としたホールや情報発信のスペースを設け、市民が気軽に立ち寄れる庁舎とした。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	外部を積極的に緑化し、建物南面は壁面緑化とし、街中でも自然を感じられる環境建築としている。	LR1 エネルギー
LR1 エネルギー	停電時の電源供給としても利用できるよう、建物屋上に太陽光パネル、壁面のガラス面にはシーソー太陽光パネルを設置している。	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	舗装材(砕石・アスファルト・平板舗装)に再生材を利用している。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	西側カーテンウォール部にはアルミ製大型ルーバーを設置する事により、日射を抑制し、年間冷房不可を削減している。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	八尾市水道庁舎		
	建設地	八尾市光南町1丁目37,39-1,50		
	用途/区分	事務所		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			A
	CO2削減			3
	省エネ対策			3
	みどり・ヒート アイランド対策			3
	エネルギー消費量の報告			報告しない

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目		評価内容	スコア	評価
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.1	3
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 3.0 住戸・宿泊	3
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	2.1	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	4.5	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.0	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.8	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目		評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
その他				
先進的技術の導入	技術の名称		考慮事項	
特に配慮した事項				